

②事例集

**(仮称)柏市の地域・市民活動団体の紹介
(事例集)について(抜粋)**

平成28年2月22日(月)

生涯学習課

地域づくり

屋内外

多世代交流型コミュニティ実行委員会

最高の子育て環境を次の世代につなげたい。

多世代が手をつなぎ広げる、安心と信頼の輪！

団体の概要

発足時期	2010年（平成22年）7月
構成員 （会員）数	100名 （男性80名、女性70名）
主な活動場所	コミュニティカフェ「茶論」、学校、近隣センター、地域フィールド
活動頻度	月6回、1回3時間程度 コミュニティカフェ「茶論」営業時間 毎週火、水、木、土曜日 夏場-10:00~17:00 冬場- 9:30~16:30

活動拠点・範囲のマップ



活動目的 （団体の理念）

少子高齢化を逆手に取り、地域を1つの家族と考え、他人の孫を地域が育てる「地縁のたまご」活動（高齢者の持てる知識と経験を地域の子どもに与えることで、元気な高齢者と子どもを成長させる活動）を通じて、子どもが親になったときにこの地域で子育てをしたいと思えるような、最高の子育て環境のある地域を作り出すことを目的としています。

主な活動 内容

- ・「地縁のたまご」活動 ・コミュニティカフェ「茶論」運営
- ・まちゼミ講座の実施（子供向け・大人向け）、職場体験受入（先生・学生）
- ・地域小学生を集めての遠足、見学 など

団体を立ち上げた（設立した）“きっかけ”は？

- ・行政から打診を受けたのが一つのきっかけですが、立ち上げを決意した背景には、この地域のまとまりの良さ、ボランティア団体や行政、学校などの全ての面で協力体制がいつでも確立できるといふ確信を得られたことが大きかったです。
- ・実際の活動では、地域をつくりながら子供たちを育てていこうとするならば、血縁ではなく地域でつながっている他人の孫を育てなければならない（地縁の他孫）という考えに立ち、「地縁のたまご」活動を展開していきました。

団体の特徴（強み）

- ・行政主導でスタートしましたが、行政が活動の方向性に関して口をはさむことは一切なく、非常に良好な関係を築けています。また、発足前の基本教育（街づくりセミナーや長者教育、東大との橋渡し）を通じて培った知識が活動に活かしているとともに、東京大学をはじめとする大学とのネットワークや他団体との連携体制が構築できており、良い相互作用が生まれています。
- ・立ち上げ3年間は市社協の斡旋で活動資金補助を受けていましたが、4年目に入りサロン事業収益・活動作品販売・メンバーのカンパで自立した活動を行っています。

絆はこうして強まった

2ヶ月先の計画をオープンにすることで、メンバーや地域の方々と情報共有を図るとともに、「町ゼミ」会議では先月イベントの反省と次回の展開方法の審議を行い、常に進化することを心がけています。

また、失敗という言葉を決して使わず、「新しい要素が見つかった」と捉えることで、メンバーが企画を提案しやすい環境をつくっています。

今後力を入れていこうとしていること

4年目を迎えた今、活動に手ごたえを感じています。小学生の挨拶・活動中の集中力・規律が良くなってきていると感じますし、子どもの親の意識も変わりつつあります。

今後も引き続き、行政、学校、大学、他団体との連携をとっていくなかで、「子育てに適した素敵な地域」を目指して活動を続けていきたいです。

私たちはこんなことをしています



「バタバタ工作」
(町ゼミ)
於：茶論



「東大キッズセミナー」
於：高柳小学校体育館



「春休み遠足」
於：市政公園



「ロケットづくり」
(やなぎっこ夏休みおもしろ学習ランド)
於：高柳小学校グラウンド

今後、団体を立ち上げる方たちへ

- ・目先のイベントでお茶を濁すのではなく、活動の「理念」を明確にし、自ら積極的に楽しむことが大切です。そして、活動後には毎回反省会を行うことで、参加者と地域に活動の理念や進化する姿を認知してもらい、親御さんが子どもを安心して預けられる土壌を形成するよう努めましょう。
- ・金の切れ目が事業の終焉に繋がることのないよう、補助金は立ち上げ時のみとし3年以内に独立する体制を確立することをお勧めします。
- ・メンバーを集めるには、活動時の声掛けや口コミも有効でしたが、活動を随時 HP で報告するようになったことで、活動内容に興味がある方が自然と参加してくれるようになりました。
- ・活動とその反省会への参加を通じて「楽しいと思える展開」や「ここに来れば自分のやりたいことがわかる」という感覚を体験してもらうことが、メンバーの加入・定着に繋がりました。
- ・長く続けるには、ヒエラルキーを明確にせず、全員が活発に活動できる環境の整備が必要です。
- ・後発の団体ならば他でやっているイベントは絶対にせず、常に新しいことを考えましょう。
- ・学校からの要望は積極的に実施してみましょう。良好なギブ&テイクの関係を築けるはずですよ。

連絡先

代表者 常野 正紀

Tel 090-1852-0207

活動拠点 コミュニティカフェ「^{きょうん}茶論」
千葉県柏市高柳 1652-1
(高柳児童ルーム隣接)

e-mail em-tomas@jcom.home.ne.jp

HP 「地縁のたまご」活動の HP
<http://ta-mago.com>